

令和元年度 五所川原市民討議会 報告書



令和元年度 五所川原市民討議会実行委員会

編集 令和元年度 五所川原市民討議会実行委員会

市民討議会の概要

1 事業目的

「活力ある・明るく住みよい豊かなまち」を構築し、ふるさとをしっかりと将来に引き継いでいくためには、市民、民間団体、行政の三位一体でのまちづくりの推進が不可欠となってきた。このことから、公益社団法人五所川原青年会議所（JC）と五所川原市がパートナーシップ協定を締結し、協働のまちづくりのきっかけの場として五所川原市民討議会を開催し、市民参加のもと人口減少傾向にある地域を活性化するためにも、地域の魅力の発信、地域への愛着を大切にしたまちづくりを目指していくことを目的とする。

2 事業概要

(1) 令和元年度五所川原市民討議会に関するパートナーシップ協定締結

2019年4月19日

(2) 令和元年度五所川原市民討議会実行委員会設立

2019年4月19日

(3) 令和元年度五所川原市民討議会開催準備（打合せ等）

準備期間：2019年4月19日から8月24日まで

打合せ等：都度開催（延べ5回）

(4) 令和元年度五所川原市民討議会開催

① 開催日時

2019年8月25日（日） 13時30分から17時30分まで

② 開催場所

五所川原市役所新庁舎 1階 市民の土間

③ 市民討議会参加者

住民基本台帳から16歳以上の市民1,200人を無作為抽出し、参加案内書を送付。

本人の参加意思を確認したのち、抽選により最終的に36名を選出した（当日の参加者は30名）。

④ 討議テーマ

立佞武多の未来を考えよう

⑤ その他

市民討議会を円滑に進行していくために、コーディネーターを1名、情報提供者を2名配置した。

(6) 令和元年度五所川原市民討議会報告書作成と市への提出

討議結果、実行事業に係る報告書をまとめ、市長に提出する。

令和元年度五所川原市民討議会 プログラム

令和元年8月25日13:30~17:30

TIME	内容
13:00~	受付開始
13:30~	開会
13:35~	進行についての説明
13:50~	市民討議 テーマ1 『五所川原立佞武多の良いところ・悪いところ』
14:45~	市民討議 テーマ2 『観に行きたい祭り・観やすい祭り立佞武多』
15:20~	休憩
15:30~	市民討議 テーマ3 『参加したい祭り・参加しやすい祭り立佞武多』
16:10~	市民討議 テーマ4 『私の誇りの・世界に誇れる五所川原立佞武多』
16:35~	グループ発表
17:05~	まとめ
17:15~	閉会
閉会后	記念撮影・参加者アンケートの記入 随時解散

運営の都合上、若干変更となる場合がございます。

■ 話し合いのルール・意見の出し方 ■

討議に先立ち、総合コーディネーターより、話し合いのルール及び意見の出し方について説明を行いました。

各テーブルでは、ファシリテーターが、討議がスムーズに進むよう、付箋の使い方や話し合いの進め方などについてのサポートを行いました。

話し合いのルール

- ①自分だけ話さない
- ②頭から否定しない。
質問として聞く。
- ③人の意見を最後まで聞く。
- ④楽しい雰囲気大切に。

市民討議会の目的・手法

■ 市民討議会の目的 ■

今回の市民討議会の目的は、自治意識の向上と自治の担い手の育成としました。このディスカッションを通じ、市民がよりよい暮らしのために何を求め、どう行動しようとしているのかという本音を引き出すとともに、そのような場を提供することで、市民参加者が今まで以上に、この地域に興味を持ち、自らが主体的に行動することの重要さを認識していただくという市民意識の変革を期待するねらいが込められています。

■ 市民討議会の手法 ■

～プラーヌクスツェレとの比較で～

今回の市民討議会は、ドイツの市民参加の手法である「プラーヌクスツェレ（注）」に学びながらも、独自に地域に見合った形に再構成し、実施するにあたり、様々な創意工夫を行いました。その特徴は次の通りです。

1. 運営組織＝実行委員会形式

五所川原市と公益社団法人五所川原青年会議所の共催事業として開催し、開催準備から当日の運営を両者からなる実行委員会が担当しました。実行委員会は、計7人で構成され、4月19日の初会合から8月25日の開催日まで、延べ5回開催されました。

実行委員会では、常に当日参加する市民参加者の立場に立った議論を心がけてきました。また、自由な意見交換と立場を超えた実行委員としての公平性を基本として、「提案・討議・検証・改善」を何度も繰り返しながら進められ、終盤では、当日の初参加の市民を想定して、実際にワークショップを行いました。

2. 住民基本台帳による完全無作為抽出

市民討議会への参加の呼びかけは、16歳以上の市民を対象に住民基本台帳から無作為抽出を行い、1,200名に参加依頼書を送付しました。一定地域に偏らないよう旧市町村単位の人口比率を加味したことで、より地域の構成要素に沿った抽出となりました。締切日までに送られてきた参加承諾書は、47名でした。

なお、個人情報保護の観点から抽出は五所川原市が、発送・集計作業は五所川原青年会議所が担当しました。

3. 話し合いの方法

話し合いは、プランクスツェレとほぼ同様の手法で行われました。その特徴の1点目は、1グループ約5人単位で全7グループが同時に話し合いを進めたことです。少人数での話し合いでは、グループ内すべての人が発言する機会があります。2点目は、各グループにより発表が行われ、全体の意見の傾向を見ることと、参加者全体の意見の共有に努めたことです。

4. コーディネーターによる先導

話し合いにおいて、スムーズな進行とテーマから逸脱しないように有識者であり、経験豊富な弘前大学大学院地域社会研究科の准教授、平井太郎氏にコーディネーターとして全体の総括を行っていただきました。

(注)：解説：プランクスツェレとは・・・

プランクスツェレ（独：Planungszelle：計画細胞）は、ペーター・Cディネールドイツ・ヴパタル大学名誉教授により1970年代に考案された市民参加の手法です。

ドイツでは、1990年のドイツ統一後、地方公共団体において住民投票制度が導入されていたことに伴い、直接民主主義に対する認識が高まりました。このような潮流の中で、市民参加の手法の1つとしてプランクスツェレが注目されました。現在はスペインやオランダなどでも取り組みがなされています。他の市民参加の手法に比べてコストがかかる点と開催の準備や最終報告に時間がかかる点に問題があるものの、サイレントマジョリティと呼ばれる一般の市民の声なき声を抽出する方法としてきわめて有効であると評価されています。

★定義

『プランクスツェレは、無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され、進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む市民グループである』～「プランクスツェレ(ディーネル教授 著)」より～

★主な特徴（ドイツ型）

- 1 話し合いへの参加者を無作為抽出で選ぶ。
- 2 参加者に謝礼を払う。
- 3 参加者だけで話し合いを行い、全体で投票を行う。
- 4 各話し合いの前に現状や課題などの情報提供を行う。
- 5 まとまった結果を市民答申として公表する。

全体テーマ「立佞武多の未来を考えよう」

◇ねらい：平成8年に復元し、平成10年より運行が始まった『五所川原立佞武多』。現在では五所川原市のまつりとして国内外から認知される市のシンボルになるとともに、観光客が多く訪れる地域の魅力となりました。しかし、近年では市民が安心して気軽に運行に参加出来る機会の減少や観光客の伸び悩み、観覧方法の不透明さなど、様々な問題が山積しています。このような現状に歯止めをかけるべく、多くの市民と共に、行政や関係諸団体と連携を図り、立佞武多のあるべき姿を見出し、市民が誇れる、そして世界に誇れる祭り『五所川原立佞武多』の醸成に繋がることを目的とします。

○情報提供1「五所川原立佞武多の歴史について」：福士裕朗

◆内 容：五所川原市での立佞武多の誕生から復活の経緯、今に至るまでの五所川原立佞武多についての説明

◇ねらい：五所川原立佞武多が地域のまつりである旨の意識付けをねらいとする。

○テーマ1「五所川原立佞武多の良いところ・悪いところ」

◆論 点：五所川原立佞武多の良いところ・悪いところの洗い出しを目的とする。

◇ねらい：まつりの良さ・悪さを共有しながら、テーマ2、3のために情報の集積を行う。

○情報提供2「五所川原立佞武多の楽しみ方 ～観覧方法・参加方法～」：J C

◆内 容：昨年・本年の祭りへの参加の仕方と観覧方法を具体的に誰がどのように行っているのかを説明する。

◇ねらい：地域の魅力と認知されている祭りである一方、参加の方法が限定的、観覧方法の曖昧さを認識することをねらいとする。

○テーマ2「観に行きたい祭り・観やすい祭り立佞武多」

◆論 点：観に行きたい祭りにするためには、観やすい祭りにするためにはどうすべきかの具体的な手法を収集することを目的とする。

◇ねらい：観る祭りという観点から可能性と課題を共有する。

ここでは、『市民』・『観光客』というカテゴリーを設け、市民目線と観光目線での意見の収集を行う

○テーマ3「参加したい祭り・参加しやすい祭り立佞武多」

- ◆論 点：参加したい祭りをするためには、参加しやすい祭りをするためにはどうすべきか、どのような参加方法があるのか、どのようなスタイルがあるのかの具体的な手法を収集することを目的とする。
- ◇ねらい：参加する祭りという観点から可能性と課題を共有する。
ここでは、世代別の手法を考えてもらう。「子ども・学生・大人・シニア」と世代別、複合で参加の形を考える

○テーマ4「私の誇りの・世界に誇れる五所川原立佞武多」

- ◆論 点：「テーマ2」「テーマ3」で出された意見を基に、シミュレーション（成果目標を達成するために協働して行う最も有効な取組の確認・提案）することで参加者の主体的参加意識の向上につなげることを目的とする。
- ◇ねらい：「テーマ2」「テーマ3」で選ばれた手法をブラッシュアップする（考えられるアイデアや具体的行動をすべて書き出す。）。その後、最終的に成果目標を達成させるための事業展開として「最も有効かつ自ら実践可能な行動」を発表する。
- 【提案例】：「私たちは○○○を提案します。これは△△△を対象として行うもので、内容は□□□です。主体は◇◇◇で私たちの手伝えることは※※※です。」

討議シート

模造紙まとめ

【良い所】

- ・山車がきれい
- ・山車が高い
- ・山車が迫力ある
- ・五所川原の観光資源
- ・カラスがいなくなった
- ・市民の誇りである

【悪い所】

- ・前と比べて元気が無い
- ・高すぎる(山車が)
- ・会に属していないと参加できない
- ・正装でないと出れない
- ・終了時間が早い
- ・囃子方だけで、跳人が少なく華やかさに欠ける
- ・有志団体のねふたの完成度が低い
- ・台数が少ない
- ・親子deたちねふたの盛り上がりがイマイチだった
- ・リピーターが少ない
- ・年々来場者が減少している気がする
- ・大型ねふたに動きが無い
- ・参加の仕方が分かりづらい
- ・初日と最終日しか盛り上がらない
- ・棧敷席が高い
- ・写真が撮りづらい
- ・外国人用のパンフレットが無い
- ・飛び入り参加出来ない
- ・トイレが少ない
- ・期間が長い
- ・収益より経費がかかりすぎているのではないか
- ・駐車場がない

テーマ2

観に行きたいまつり・ 観やすいまつり立佞武多

市民目線

- ・トイレが不便
- ★中高生に参加させる(学校単位)
- ・吉幾三による集客効果あり
- ・立佞武多を昇天させる。花火を最終日にやる
- ・ミス・ミスターやっぴ
- ・開会式を4日の午前中にやる
- ・引退するねふたを使ってイベントを行う(オークション等)
- ・たちねふた結婚式
- ・跳ねたりない人のための後夜祭
- ・立佞武多3台を毎年新作で
- ・演出をもっと考えるべき
- ・地元店の出展を増やす
- ・出店エリアをもっと散らして欲しい

観光目線

- ・B級グルメを作る
- ・観光客がハネト、曳き手で参加できる仕組みづくり(レンタル衣装等)
- ・昼運行の復活
- ・棧敷の料金を安くする。もっと見やすい場所にする
- ★SNSでの情報発信を深める
- ・運行順を掲示
- ・山車の見せ方(回転させる等)
- ・情報提供(パンフレット、ねふたの解説付き)
- ・日本語だけでなく、英語の解説をつける
- ・企業誘致
- ・キャラクター立佞武多(ゴジラ、進撃の巨人など)
- ・宿泊先の増加

テーマ3

参加したいまつり・ 参加しやすいまつり立佞武多

子ども

- ・保育園、幼稚園での参加
- ・子どもねふた
- ・親子ねふたエリアに保育園児も
- ・学校の授業でねふたを学ぶ
- ・学校行事にする

中高生

- ・学校で参加
- ・地域単位での参加
- ・学校対抗でコンテスト
- ・立佞武多の歌を唄わせる

大人

- ・市内の企業にも参加してもらう
- ・ボランティア参加
- ・山車作り(ボランティア)
- ・立佞武多デー(働き方改革、午後休み)
- ・後夜祭の実施
- ・期間中に合コン、街コン
- ・賞をもらった団体に賞金を

シニア

- ・婦人部の踊りをもっと増やす
- ・有料席のシニア割引
- ・孫が出れば見に行く
- ・シニアグループの作成

複合

- ・衣装を揃える
- ・自由参加枠をつくる
- ・囃子の自由参加
- ・親子deたちねふたが良かった
- ・親子deたちねふたに参加したが、ただの散歩でつまらなかった
- ・参加できるための物をつくる(共通の衣装等)
- ・貸出浴衣
- ・跳ね方ルールをつくる
- ・けんかねふたの再現(演出)
- ・各団体に一般参加スペースを設けてもらう
- ・ルールの明確化(正装の決定)
- ・笛があれば盛り上がる
- ・キャラクターねふたに子どもを参加させる
- ・大手会社をスポンサーにつける
- ・ミスター跳人のように祭りを盛り上げる人を作る
- ・跳人は浴衣と決める
- ・囃子は半纏
- ・インスタ、ツイッターを活用する
- ・ねふたの曳き手をアルバイトで雇う
- ・曳き手の楽しさを伝える
- ・体験ツアーを組む

テーマ4

「私の誇りの・ 世界に誇れる五所川原立佞武多

グループ発表 ①

私の世界に誇れる立佞武多

【アイデア名】 青森だけの映えスポット来てみねが？

【選定理由】 外国人も含めもっとPRしてもらおう

【誰がやる？】 青年会議所

【誰のために？】 観光客、市民

【内 容】 外国語、看板、ハッシュタグ

募集方法 SNS

企 画 コンテスト

そ の 他 写真を撮ってくれる人

【私ができること】 スポットを見つける



グループ発表 ②

私の世界に誇れる立佞武多

【アイデア名】 みんなで参加しよう立佞武多

【選定理由】 参加方法が情報量も少なく分かりづらいため

【誰がやる？】 市、学校、立佞武多運営委員会

【誰のために？】 参加する全ての人のために

【内 容】 参加しやすいように参加枠を作る、衣装の統一、禁酒

募集方法 学校経由、ツイッター、WEB、SNS、折込チラシ

企 画 市民枠、観光客枠、親子枠、シニア枠、囃子の自由枠

そ の 他

【私ができること】 SNSでの情報発信、知人に教える、団体のブログ、HP作成



グループ発表 ③

私の世界に誇れる立佞武多

【アイデア名】 参加することで見える視点がある

【選定理由】 観るよりも参加が楽しめる、まつりの未来が良くなると感じたから

【誰がやる？】 市役所、観光協会、市民

【誰のために？】 みんなのため(市民、市外、観光客)

【内 容】 ①SNS活用
②募集広告を出す

募集方法

企 画

そ の 他

①市、協会がアカウント作成→市民がフォロー、投稿
→他市民、参加者などに普及させる→ループ

②役所、協会で実施

【私ができること】 問題提起、SNS使用、お客様を楽しませる



グループ発表 ④

私の世界に誇れる立佞武多

- 【アイデア名】 子どもが楽しく参加できる祭り
- 【選定理由】 未来に参加する大人を増やすために、純粹に今の子ども達が楽しめるようになる為
- 【誰がやる?】 市、JC
- 【誰のために?】 子どもたち
- 【内 容】
- 募集方法 学校に応募用紙配布
- 企 画 子どもが好きそうなキャラクターねぷたの作成
- そ の 他 自分達で作ったねぷたで参加
- 【私ができること】 ボランティア



グループ発表 ⑤

私の世界に誇れる立佞武多

- 【アイデア名】 全人類のための立佞武多
- 【選定理由】 ・参加ルールが統一されていない
・祭りの情報が少ないため
- 【誰がやる?】 行政と関係団体
- 【誰のために?】 全人類のために
- 【内容】 参加しやすい祭りするために
・ルール(正装・跳ね方)をつくる
・宣伝を工夫する
・世代で区別した参加自由枠をつくる
- 募集方法 ・衣装レンタル
・有料席の工夫
- 企画
- その他
- 【私ができること】 情報を広める、ボランティア



グループ発表 ⑥

私の世界に誇れる立佞武多

【アイデア名】 踊り盛り上げコンテスト

【選定理由】 祭りを盛り上げたい、多年層の人を参加させたい

【誰がやる?】 市、立佞武多運営委員会

【誰のために?】 子ども、中高生

【内 容】

募集方法 各学校にお願い

企 画 部門毎に出ている人の盛り上げりを審査する

そ の 他 優勝した人はもう一回出られる

【私ができること】 保護者として車の送迎



グループ発表 ⑦

私の世界に誇れる立佞武多

【アイデア名】 フェス

【選定理由】 まつりの前後にも盛り上がりを作る為

【誰がやる?】 JC、商工会議所青年部(YEG)、行政、協会

【誰のために?】 市民

【内 容】

募集方法 CM

企 画 ・やわらかいクワや石でケンカねぶたの競技化
・跳ねたりない人のために後夜祭
・合コンの後、一緒に跳ねる

そ の 他

【私ができること】 企画、運営、参加



(別紙)

令和元年度五所川原市民討議会実行委員会会則

(名称)

第1条 本会は、令和元年度五所川原市民討議会実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、令和元年度五所川原市民討議会（以下「市民討議会」という。）を円滑に実施することを目的とする。

(所掌事務)

第3条 実行委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 令和元年度五所川原市民討議会実行委員会会則（以下「会則」という。）の制定及び改廃に関する事。
- (2) 事業計画及び事業報告に関する事。
- (3) 予算及び決算に関する事。
- (4) 市民討議会の実施に関する事。
- (5) 市民討議会の成果及びその手法の効果の検証・評価に関する事。
- (6) 市民討議会の実施状況の公開に関する事。

(組織)

第4条 委員は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 公益社団法人五所川原青年会議所会員
- (2) 五所川原市職員
- (3) 前2号に掲げるもののほか、実行委員会委員長が特に必要と認める者

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、令和2年3月31日までとする。

2 補欠により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第6条 実行委員会に、次に掲げる役員を置く。

- (1) 委員長 1名
 - (2) 副委員長 若干名
 - (3) 書記・会計 若干名
 - (4) 監事 2名
- 2 役員は委員の互選により選出する。
- 3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が職務を行うことができない場合は、その職務を代理する。

(会議)

第7条 実行委員会の総会及びその他会議は、委員長が召集する。

2 実行委員会の総会は、第3条第1号から第3号までの規定に関して審議し、決定する。

3 実行委員会のその他会議は、第3条第4号から第6号までの規定に関して協議及び検討する。

4 実行委員会の総会及びその他会議等の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務局)

第8条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(経費)

第9条 実行委員会の経費は、補助金その他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第10条 実行委員会の収支予算については、総会の議決により定め、収支決算については、事業終了後、速やかに監事の監査を経て総会の認定に付さなければならない。

(会計年度等)

第11条 実行委員会の会計年度は、この会則の施行日から始まり、令和2年3月31日に終わる。

(解散)

第12条 実行委員会は、その目的が達成された時に解散する。

(その他)

第13条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

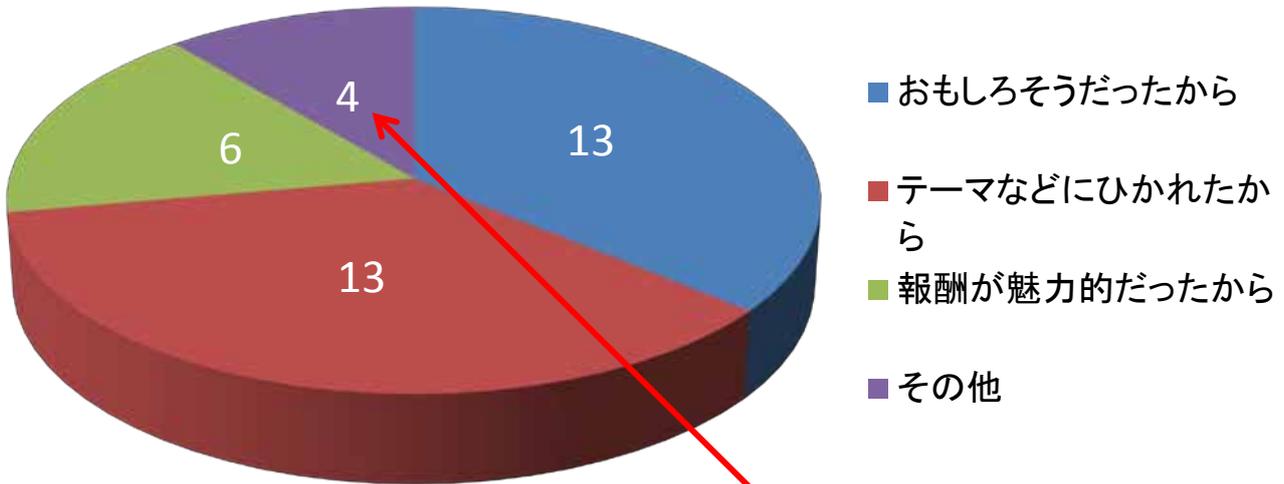
附 則

この会則は、平成31年4月19日から施行する。

各種アンケート

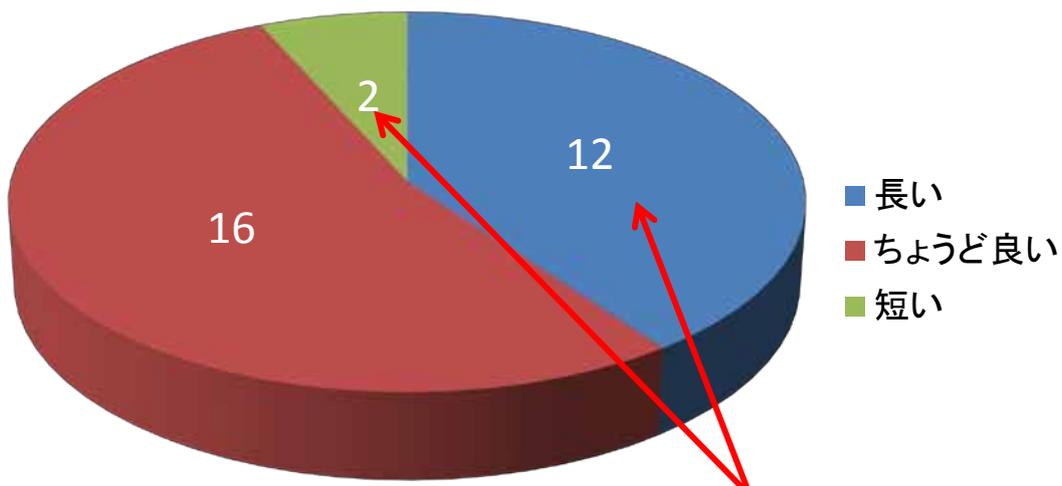
市民討議会アンケート結果

質問① 市民討議会に参加された動機はなんですか？



・立佞武多がより良くなるためにどうしたらいいか普段から考えていたから
・大学で地域政策について学びたいから

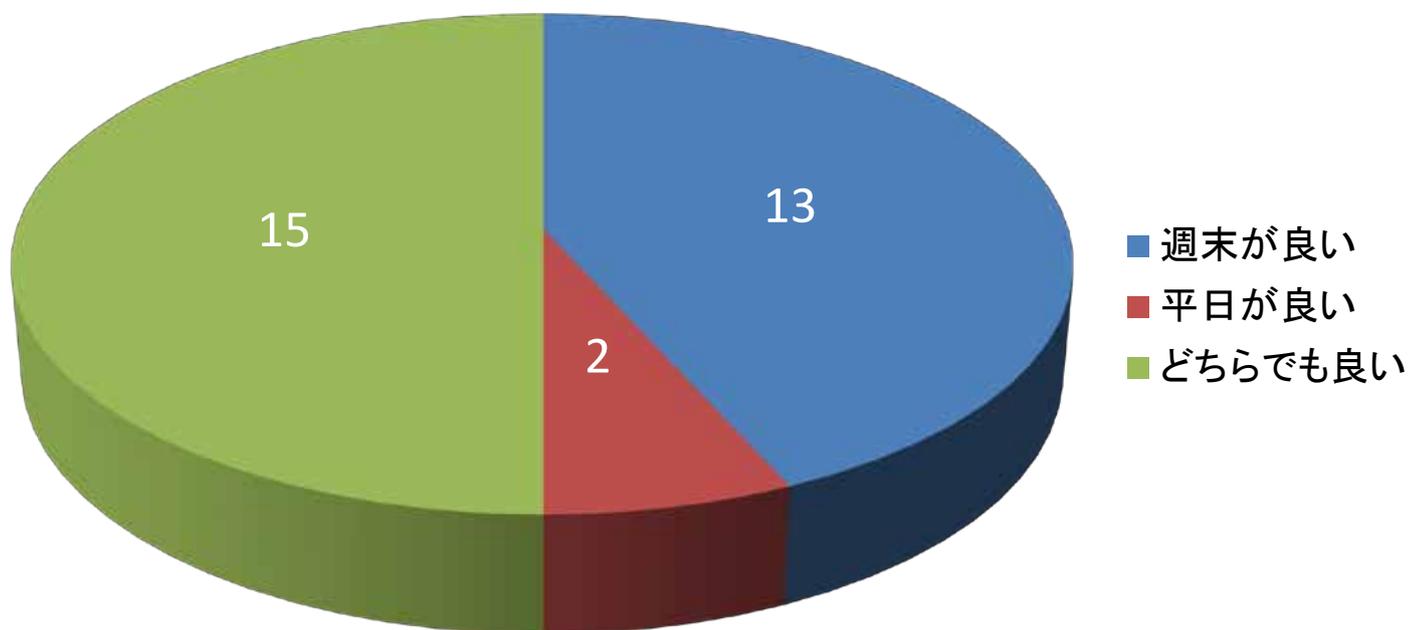
質問② 市民討議会の時間的な長さはいかがでしたか？



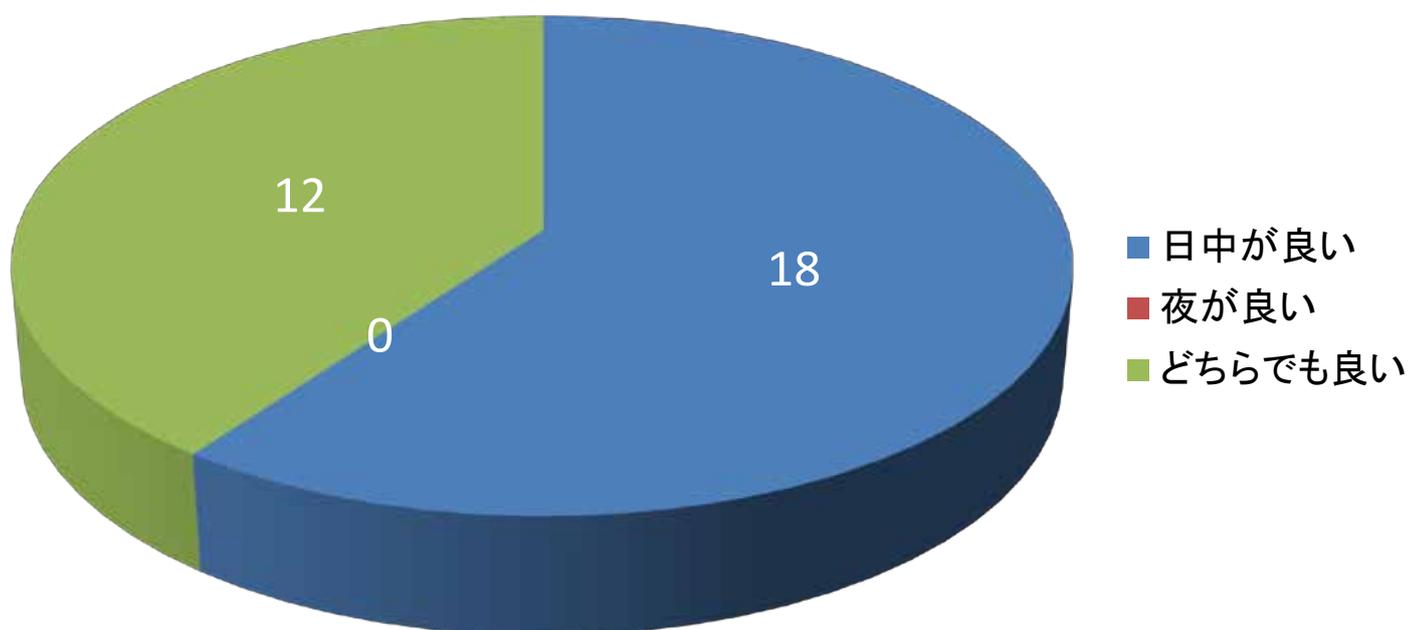
「長い」あるいは「短い」とお答えになった方におたずねします。ちょうど良い時間はどの位でしょうか？

- ・1日... 1名
- ・2時間... 4名
- ・3時間... 3名

質問③ 市民討議会を開催する曜日についてはいかがでしたか？

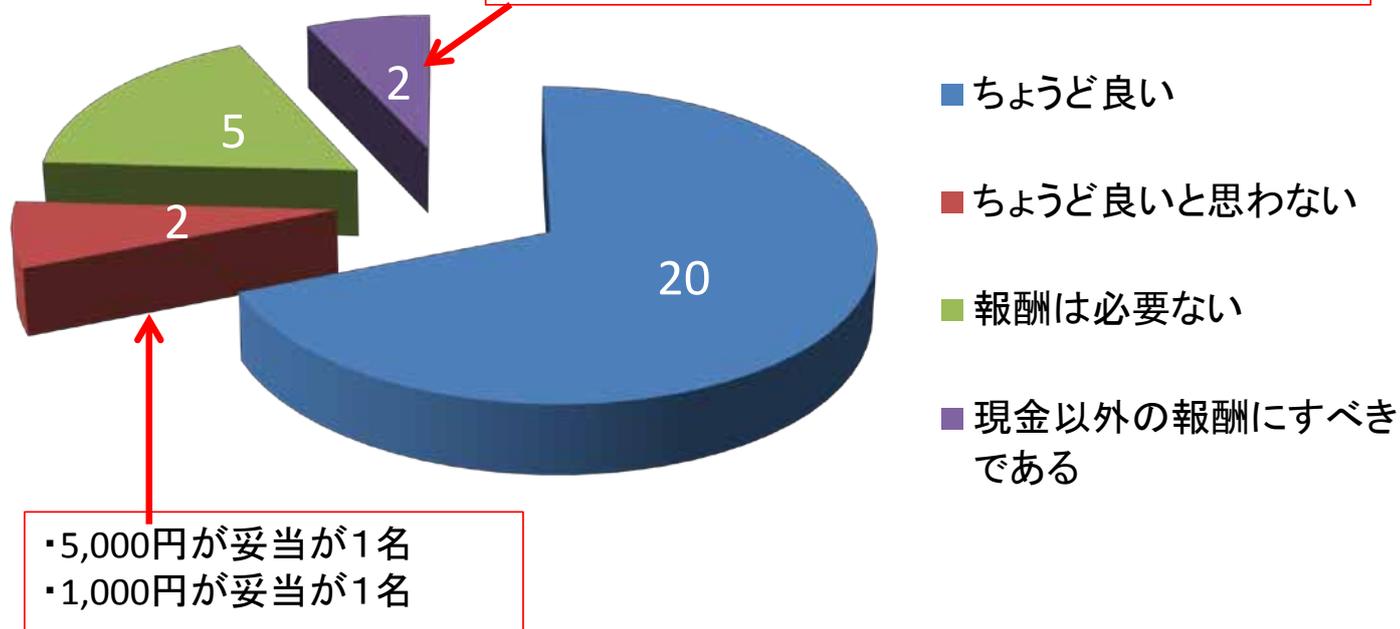


質問④ 市民討議会を開催する時間帯についてはいかがでしたか？



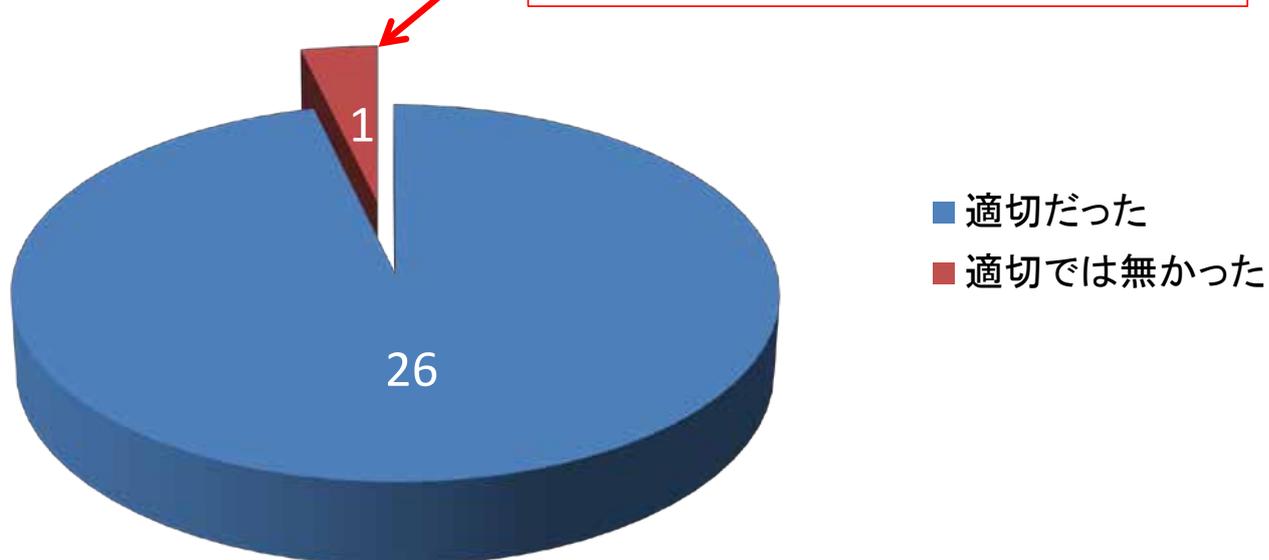
質問⑤ 市民討議会の報酬についてはいかがでしたか？

ボランティアの感覚で参加出来るだけでうれしいのに、報酬にお菓子やお茶の気づかいまでスゴイ！

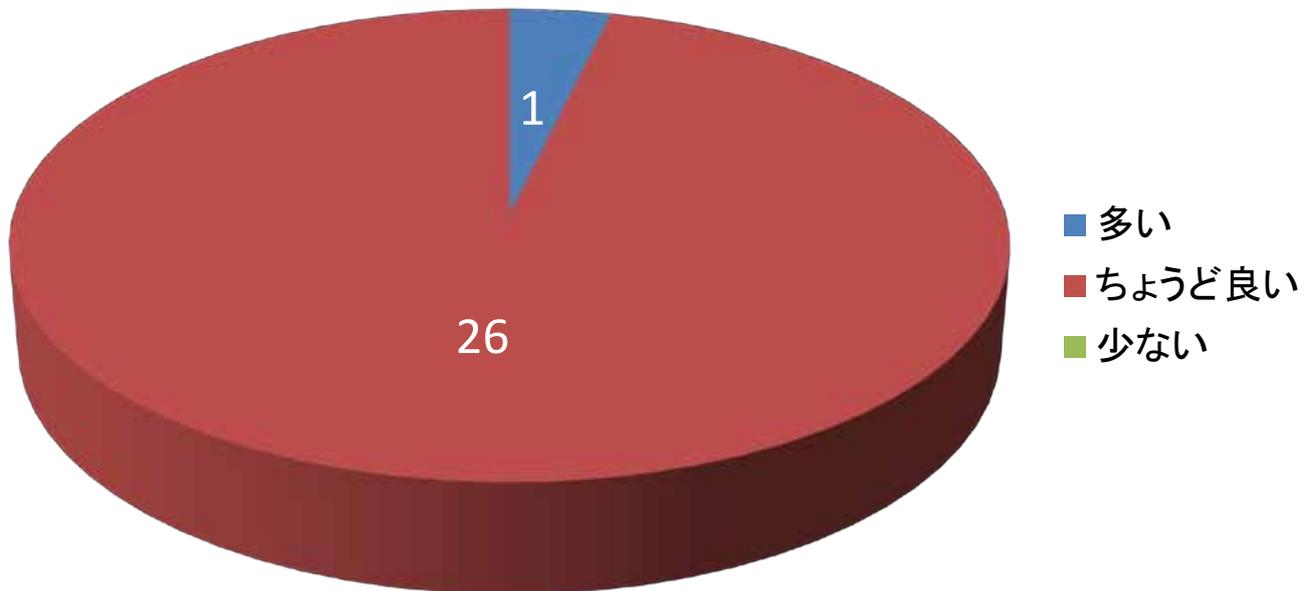


質問⑥ 市民討議会の小テーマは、討議を進める上で適切でしたか？

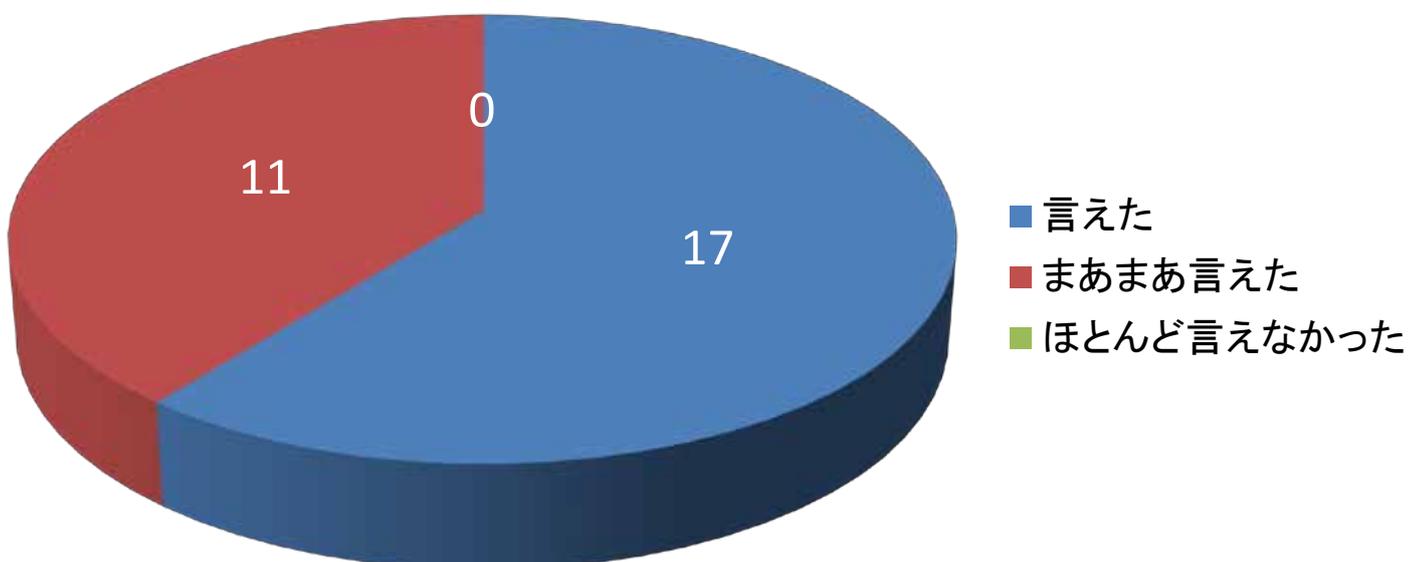
どちらの小テーマに相応しいか迷う意見を持っていたので迷ってしまった



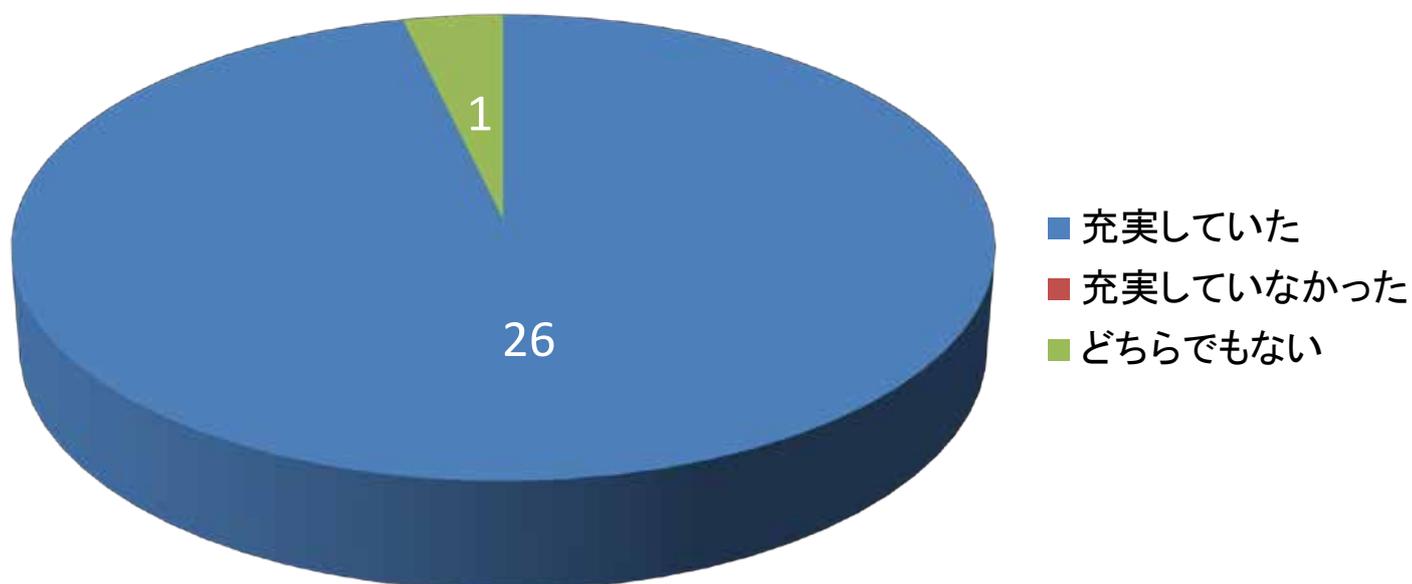
質問⑦ 討議グループについて、1グループの人数はいかがでしたか？



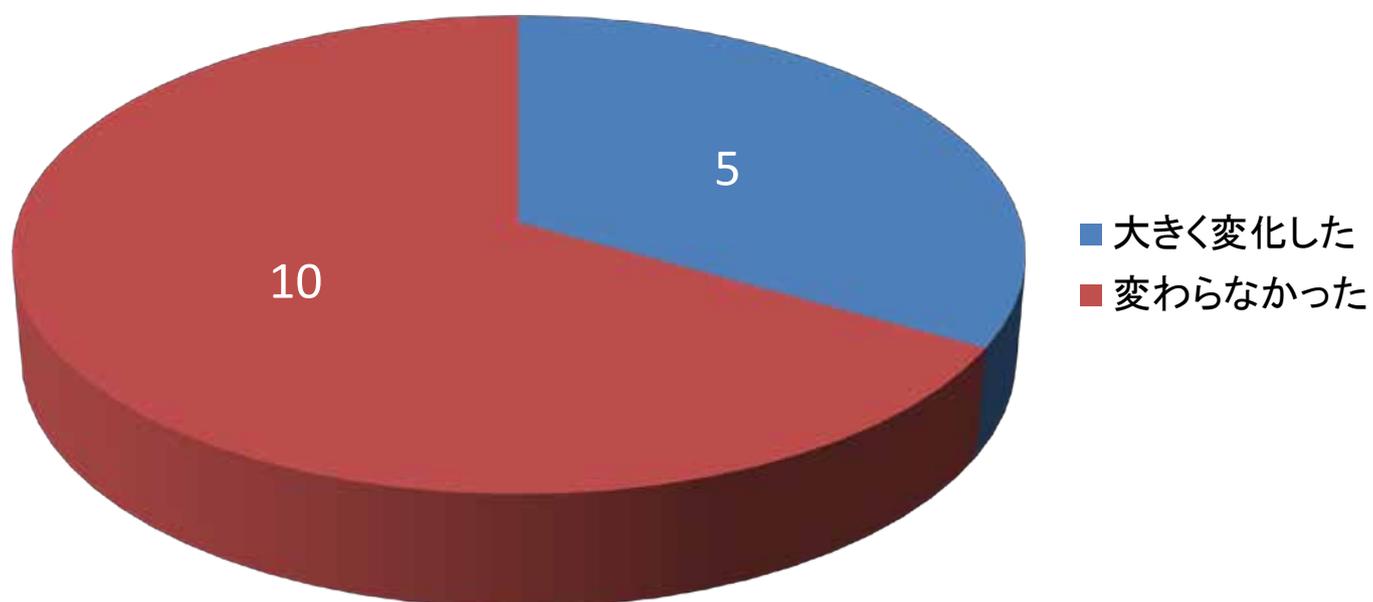
質問⑧ 討議では自分の意見をきちんと言うことができましたか？



質問⑨ 参加されての充実感をお尋ねいたします



質問⑩ 討議していく中で、「立佞武多」についての考えに変化はありましたか？



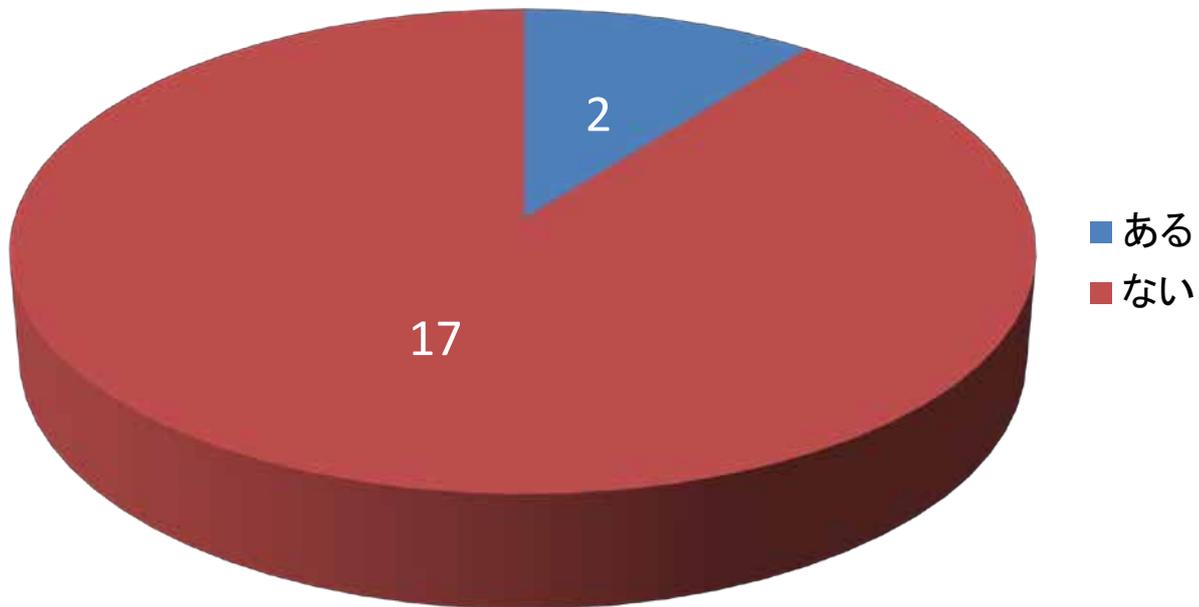
質問⑩ 大きく変化した理由について

- ・より立佞武多について考えることができ、もっと活性化させたいと考えさせられました
- ・立佞武多には改善点がたくさんあった
- ・若いみなさんの意見が聞けて良かった
- ・カラスに参加していた人の話を聞いたから
- ・知らなかった歴史を知れた
- ・実現出来ていない沢山のアイデアがある
- ・観客としてしか関わりが無かったのが、参加者や運営からの視点に触れることができたから

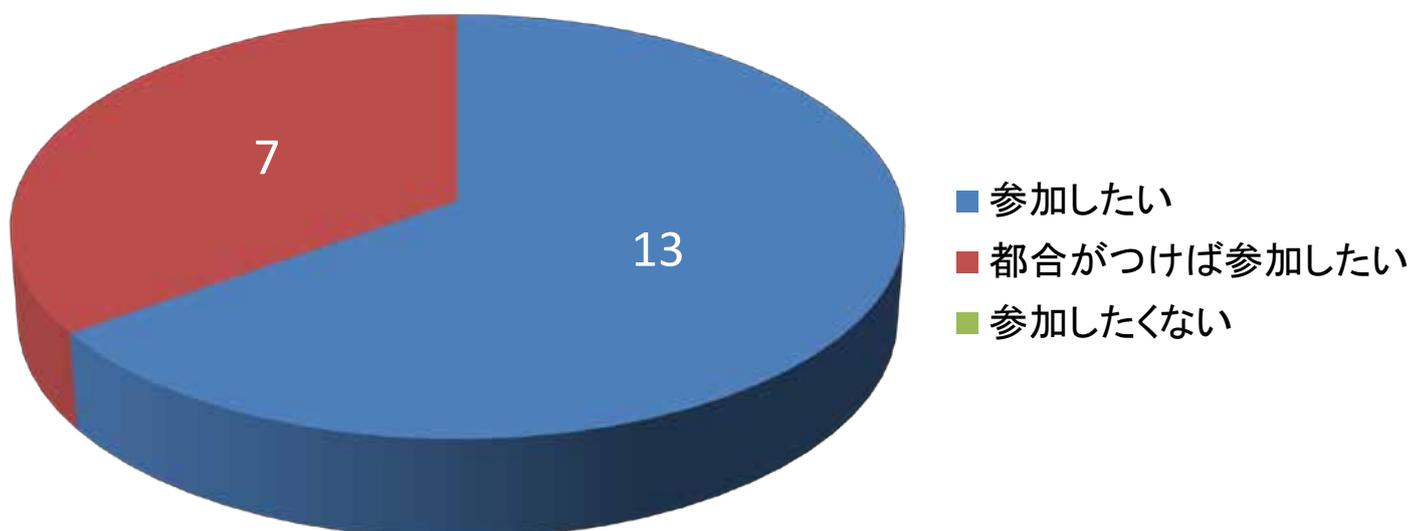
質問⑩ 変わらなかった理由について

- ・普段から思っていた事がピックアップされていたため
- ・変わる感じがあまり見えなかった
- ・ほかの人たちも思っていることは同じだった（3名）
- ・事前にあらゆる新聞記事を収集、読み込んできた

質問⑪ これまでに「住民懇談会」などの市が主催する集まりに参加したことはありますか？



質問⑫ 市民討議会に限らず、このような市民参加型の事業にまた参加したいですか？



質問⑫ 実際に市民討議会に参加されてみて、どうでしたか？ なんでも結構ですので感想をお書きください。

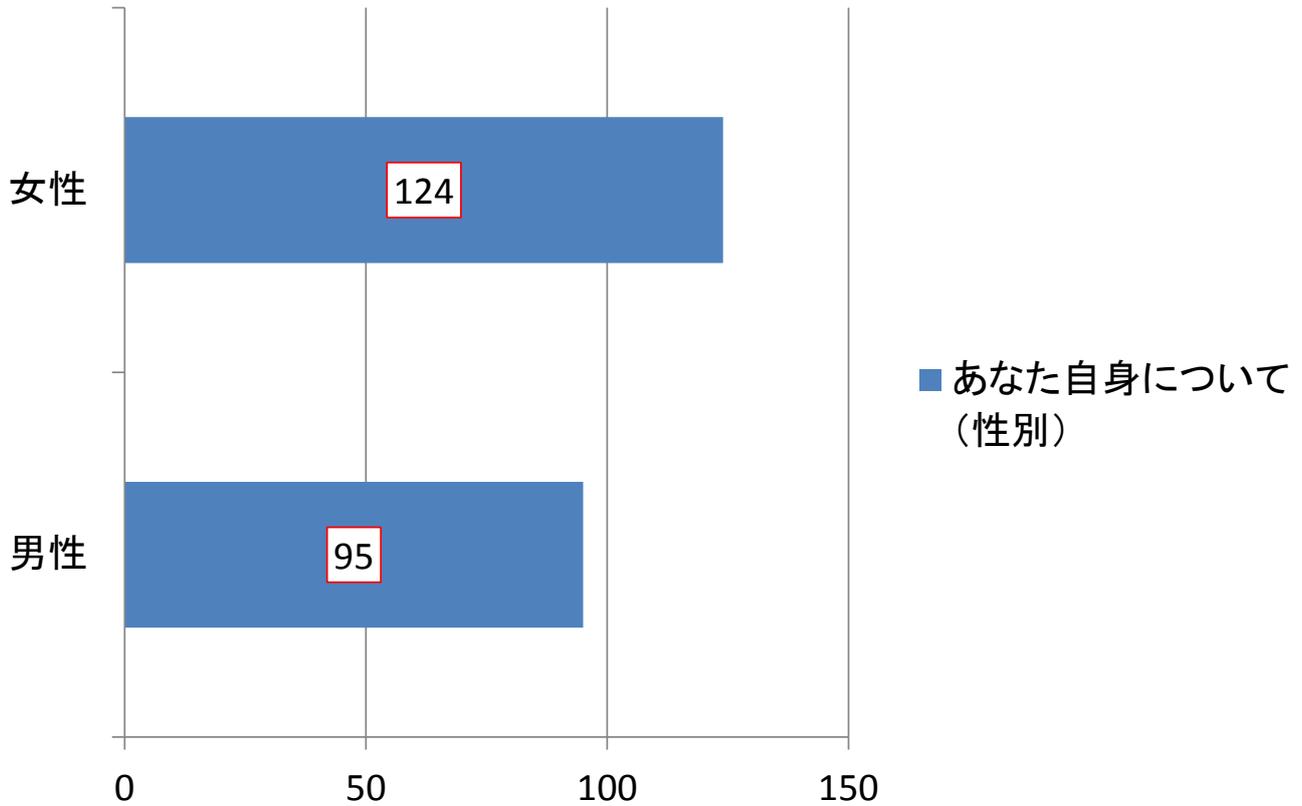
- ・同じような考えでも伝え方、発想が様々あると感じた
- ・みんなが出した案なので1つでも採用になったら嬉しい
- ・都合がつけば楽しかったのでまた参加したい
- ・良い体験ができました
- ・市民として有意義な時間をもてた
- ・思っていた以上に楽しかった
- ・はじめは話し合いが上手くできるか不安でしたが楽しくできたのでよかった
- ・色々な年代からの意見も聞けたし、自分が思っている意見もしっかり言えて良かったです
- ・進行もスムーズで充実していました。
- ・良い経験をありがとうございました。
- ・様々な提案意見提示がなされながら、まとめ部分では無形な形で終わり残念
- ・高校生の意見がとても新鮮だった
- ・時間が長い
- ・写真は撮られなくなかった
- ・色々な年代の人と一つのテーマについて話し合う事は年配者にとって非常に有意義でした

その他、今回の市民討議会に対するご意見やご要望がございましたら、以下にお書き下さい。

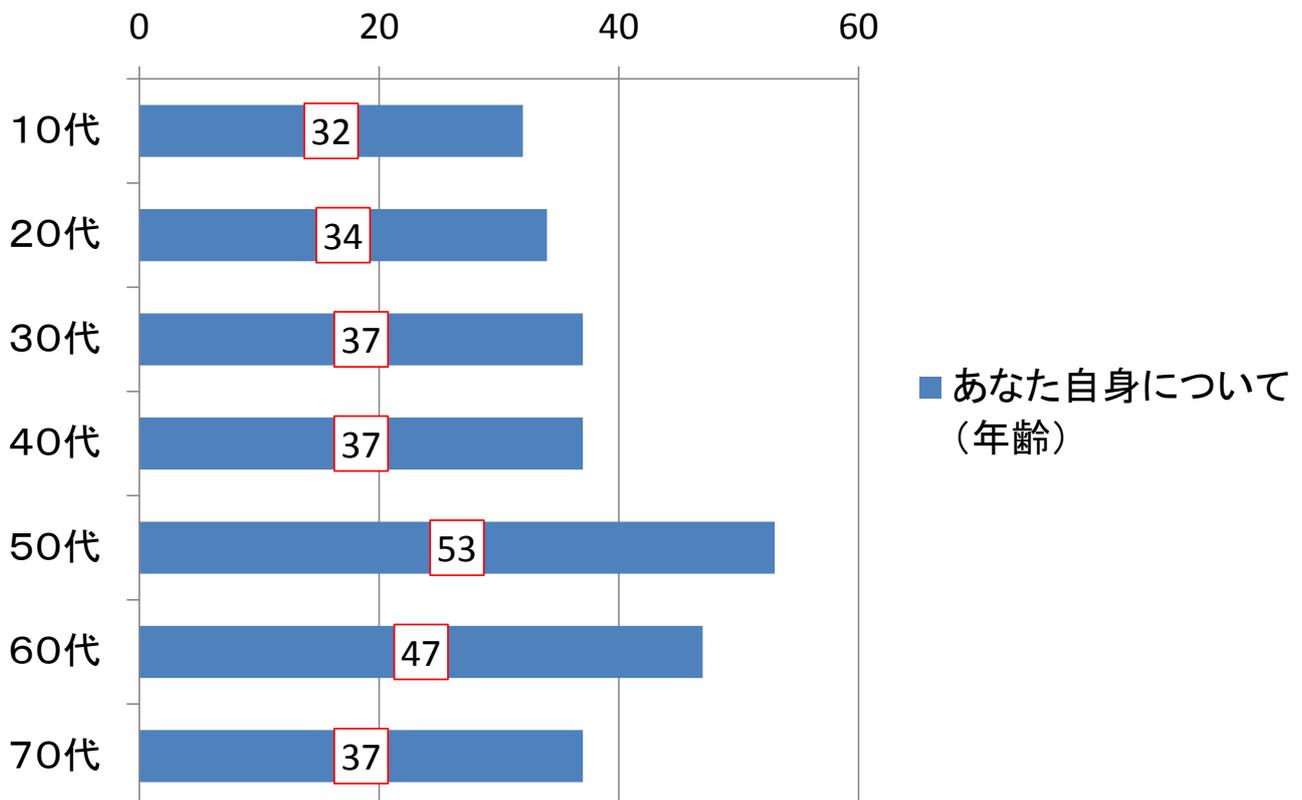
- ・吉幾三さんに依存し過ぎ
- ・このような活動を続けてほしい
- ・討議会での貴重な意見等を無駄にすることなく進めてほしい
- ・報酬があるのであれば最低賃金×時間で用意してほしい
- ・また参加したいです
- ・グループ内では意見を述べる事が出来ましたが、アイデア発表の時は疑問など答えられなかったのが後悔しています

不参加アンケート結果

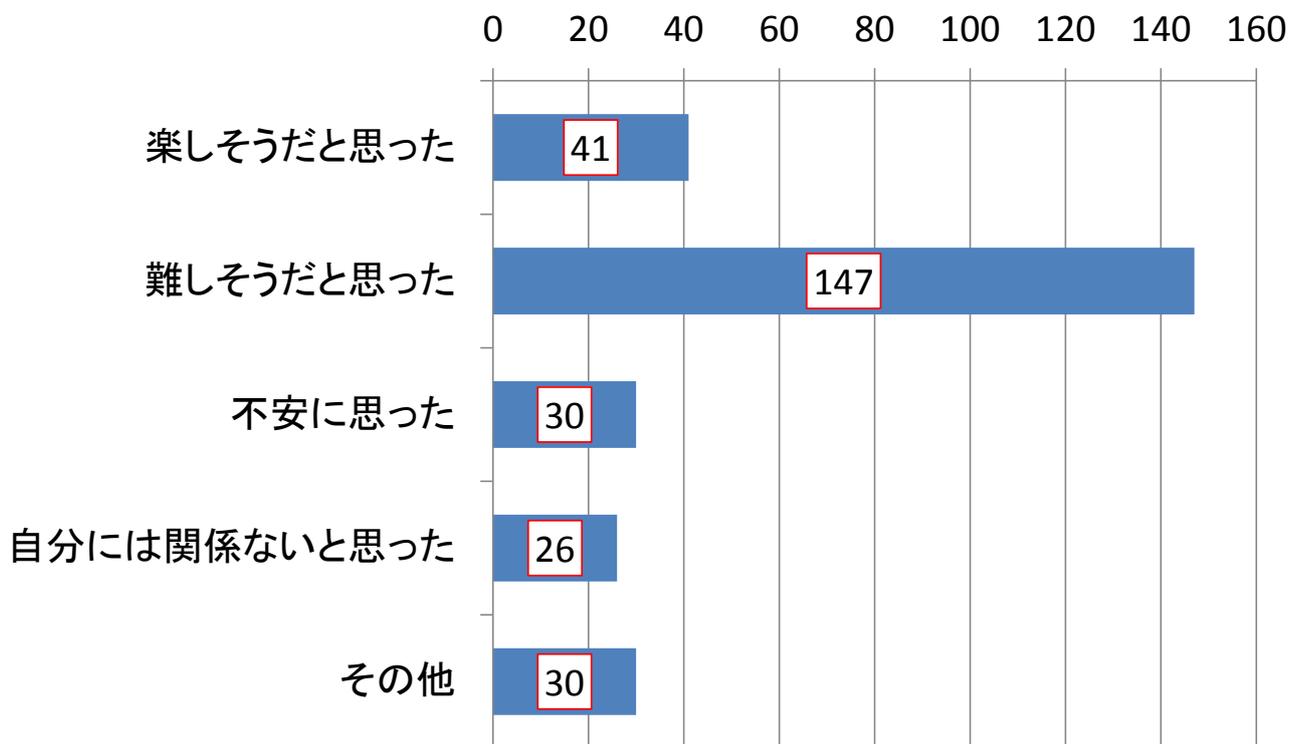
Q1-1 あなた自身について(性別)



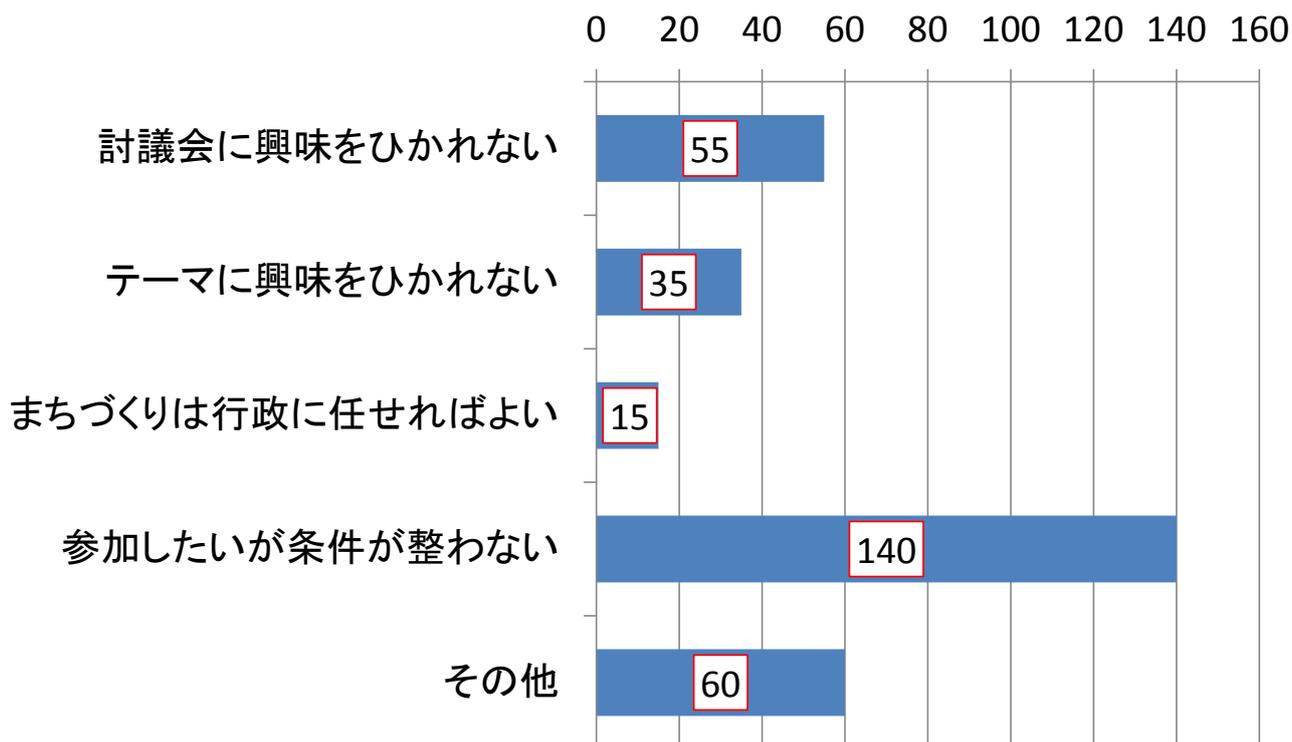
Q1-2 あなた自身について(年齢)



Q2 五所川原市民討議会への参加依頼書を受け取ったとき、どのように感じましたか？



Q3 市民討議会に参加出来ない理由を、差し支えない範囲でお答えください



Q3 その他 記載一覧

- 健診のため
- 場違いのような気がする
- 使用のため
- 仕事のため
- 看護のため
- 謝礼金が安すぎる
- 話せる自信がない
- 日曜日は休みたい
- 小学生がおり、託児が利用できない
- 面倒くさい
- 出産予定日のため
- 転出のため
- 障がい者で意思疎通できない
- 子どもがいて時間がないため
- 4時間も拘束されるのが嫌だから

Q4 立佞武多に関してや市民討議会へのご意見等がありましたらご記入ください

- 年に2度やって欲しい。例えば、春ねぶた、2日間でもいいので、館の外にねぶたを出してみるとか。
- 出店の人の歩道の場所取りをやめて欲しい。
- 近年立佞武多が海外に進出していますが、それにかかる費用は？もしかして私たちの税金ですか？海外まで広める必要はあるとは思えません。
- 囃子がもう少しレベルアップすれば迫力が増すと思います。
- 予算の費用対効果はどうなっているのか、公開検証してみているのか？海外・県外の人を集客にどのくらいのPR効果があったのか検証してみる。二次的な使用の方法戦略の再検討。某2人の年配の芸能人でなくもっと若い人を採用してPRしてもらうか、五所川原からそういう人を売り出していく。
- 立佞武多は年々全国的にも周知され観光客も呼べ、市も盛り上がる一大イベントだと思っています。が、今年は自由参加ができないそうで、大変残念な結果だと思っています。確かに一部の常識のない若者にはがっかりさせられるが、子供たちが参加したいと思っても、団体に所属していなければならないとなると、悲しいです。是非、万全の対策を練って一般枠を復活させて欲しいです。
- ねぶた、ねぶたは県外の人に周知されているが、立佞武多はまだ知名度が低い。
- 立佞武多に関して、小さいねぶたが多すぎませんか？もちろん団体が製作できないという面もあると思いますが...もっと大型の立佞武多の台数を増やせないのでしょうか？3年で1台の制作だと、毎年1台しか新しいものは見ることができない。高校あたりは毎年1台製作しているのであれば、市も頑張って毎年3台新しいのを作るとかしないと、毎年観光客は来ない。(3年に一度見ると満足ですから)
- 当日、立佞武多を観に来てくださっている観客の皆さんも飛び入り参加できるような体制が欲しいです。
- 立佞武多素晴らしいです。五所川原の誇りです。
- 市民が楽しめる祭りが一番であり、その楽しさが観光客にも伝わると思うのです。観光と海外交流は2の次であると思います。もっと市民のために資金を使って欲しいと思います。
- 立ねぶたも、今や世界にも知れわたるよになり、年を重ねるごとにレベルアップしてきて素晴らしいと思う。青森ねぶたまでの拡大はまだまだと思うが、祭りを盛り上げるためにも、各企業へ働きかけて、企業立ねぶたや、ミス立ねぶたなども検討してみたらいかがでしょうか。
- 立ねぶた制作のために3人も職員に採用する等、経費をかけすぎなのでは？観光協会に全て任せて市は撤退すべきだと思います。市民討議会の意見が反映されているのか？やる意義があるのか疑問である。
- 立ねぶたの吉幾三さんの不参加による影響はどれ位？又、盛り上げるためのフィナーレ等のあり方等、一考の余地があるのでは？

- 現在の旧市内の活性化のためには、ネプタの館付近にもっと目玉観光を導入することや、現在の市の駐車場の活用が必要。
- 立ねふたを引く人達がつらくなると思うが、運行する距離を増やしたい。
- 運行日程を変更してほしい。(日数を増やしてほしい)
- 交通・宿泊の不便性(駐車場合む)
- 昔みたいにネプタの衣装を浴衣のみにすればいいと思う。ない人は、黒いズボンに白いシャツとか。
- 子連れスペースを作って、安心・楽しく参加したい。過去に関係者の口の悪さに不快な思いをし、もう出たくないと思った。
- 青森ねふたは、関係者からも楽しもうっていうのがすごく伝わってくるし、子連れスペースを作っていて最後まで楽しく終わることができた。
- 立ねふたが復活の際のクオリティで、できれば毎年作ってほしい。又、90年代の時のように各町内の巨大ねふたも一緒に楽しめたらうれしいです。
- 旧市内の活性化対策を真剣に考える必要あり、そのためには市内商店主の考え方を改善する事が必要。
- 立ねふたは、観光客の集客の活用には効果があるので今後も継続したほうがいいと思う。ただし経費の削減が必要だと思う。
- 農業所得向上により、購買力が増加すると思いますので農業者への支援にもっと力を入れてほしい。
- 財政的には、大変な面もあると思うが五所川原をアピールする良いイベントなので今後も盛り上げていてもらいたい。
- この奥津軽で立ねふたを復活させ、祭をここまで大きくしたことを評価する。
- 現時点では祭の企画力を問われてきていると思う。
- 駐車場やトイレが充実していればもっと多くの人が気軽に立ねふたに参加できると思います。
- 昔の町内単位の頃とはまったくちがいますが〇〇会とかに属していないと参加しにくくなっているのかと思います。身近にあって身近でない感じがしている市民も多いのでは？
- 1テーマに関しての討議時間が長すぎるのではないか？

